



町内各地で鬼火たき 鬼を払い、無病息災に



1月7日、町内の各集落で鬼火たきがありました。

城川内集落では、午後2時過ぎ育成会が竹やスギで組まれたやぐらに点火。やぐらは勢いよく燃え、竹が割れる爆発音が辺りに響き渡りました。鬼火たきは、竹が割れる音や正月飾りを焼くことで鬼を追ひ払い、無病息災につながると言われています。

育成会長の福永敏秋さんは「今年で育成会を卒業する。同会からたくさんの方の事を学んだ。今後も鬼火たきなどに参加して手伝っていききたい」と炎を見つめながら話しました。

長島の子表彰式 自分の良さに誇りを持って



1月11日、長島の子表彰式が町文化ホールで開催されました。これは、児童生徒の個性や良さを発見し表彰することで、心身ともに健全な子どもを地域で育てることを目的としています。

今年は、町内の小学6年生89人に賞状とメダル、記念品が贈られました。

受賞者を代表して白濱龍義さん（獅子島小）が「町で認めてもらった自分の良さに誇りを持って前に進んでいきたい」とお礼の言葉を述べました。

長島町女性の声を聴く101の会 より良い子育て支援を



1月16日、女性の声を町政に反映することを目的にした「長島町女性の声を聴く101の会」を町開発総合センターで開催し、各地区や各種団体から選出された30人の女性に参加しました。

会では、グループに分かれて「子育て支援に関すること」をテーマに議論し、「こんな〇があったらいいのにな」を参加者全員で書き出し、発表。「小児科が欲しい」や「屋内の遊び場が欲しい」などの貴重な意見が出され、有意義な機会となりました。

城川内小で火災避難訓練 火事に備えて



1月21日、城川内小学校（下野由美子校長・70人）で火災避難訓練がありました。災害時に命を守る行動を学ぶことを目的に、全校児童による避難訓練や分遣所職員による講話、煙の実体験などが行われました。

煙の実体験では、煙が充満したテントの中に子どもたちが入り、ハンカチで口を押さえながら、低い姿勢をとる重要さを学んでいました。

4年生の藤田聖輝君は「避難訓練をしたことで実際に火事が起きた場合に備えられる」と話しました。